

※(一社)河川ポンプ施設技術協会に確認をとって転載しています。  
記事・画像等の無断転載は一切お断りします。

# 建設技術展示館 第15期リニューアルオープン

渡部 修 わたべ おさむ 国土交通省 関東地方整備局

関東技術事務所技術課 技術情報管理官

## 1. はじめに

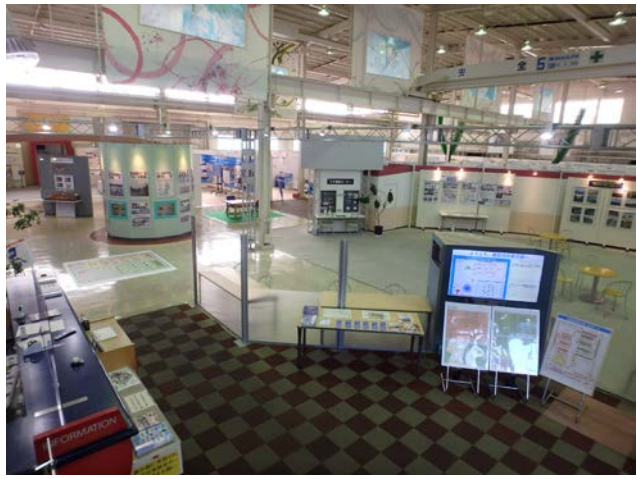
国土交通省関東地方整備局では、平成11年度から、建設技術に関する情報提供及び新技術の活用促進等を目的として、関東技術事務所構内（千葉県松戸市）に常設の『建設技術展示館』を開設しています。

建設技術展示館は、公募で選ばれた新技術を中心に、建設技術の移り変わりや最近の動向等について紹介した動画や模型、パネル等を多数展示しており、技術者はもとより、学生から一般の方まで幅広い方々に、「見て」、「触れて」、「体験して学べる（知る）」場として活用されています。

現在、建設技術展示館では、2年毎に展示テーマを決めて屋内展示内容の入れ替え（リニューアル）を実施し第15期としてオープンしています。今回は、令和2年12月2日に行ったリニューアルオープン及び建設技術展示館の活動について紹介します。（写真－1・2、図－1・2）



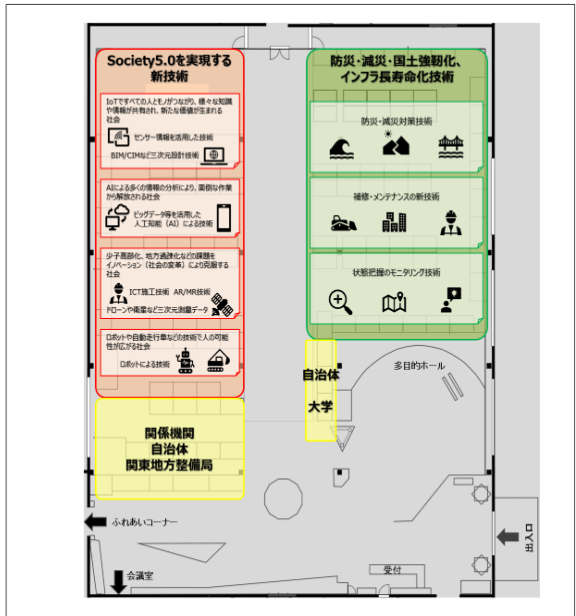
写真－1 建設技術展示館



写真－2 正面入口より展示場内



図－1 アクセスマップ



図－2 展示レイアウト

## 2. 第15期リニューアルオープン

### 2.1 リニューアル概要

第15期目となる今回は、「Society5.0」、「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化」の2つのテーマを主体に産・学・官による取組について展示することとして出展技術のリニューアルを行ったものです。

「Society5.0を実現する新技術に関する展示」は33者、「防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術に関する展示」は60者（うち26者は前期と後期で入替）、また関係機関・自治体・大学の7機関から出展を頂き、多数の技術をご紹介しますことになっています。

展示物には、体験・体感できるものとして「スマートホンやタブレットを利用した遠隔監視や浸水の危険予測技術」「体験用スカウター利用の監視技術」「ベストを着用して建機に近接すると警報が鳴る技術」、動画では「重機のリモート操作」「現場施工状況を遠隔で確認」「津波対策の模型実験」、模型や実物では「ICT技術のイメージ模型」「傾斜や伸縮監視ができるセンサーボックス」「防波堤護岸のジオラマ」を展示しています。

また、技術紹介ビデオをエンドレスで上映しています。

### 2.2 式典

式典は、主催者代表として関東地方整備局長、来賓として建設技術展示館審査会委員長、松戸副市長のご臨席を賜り、出展企業等の関係者約50名の方々が出席し執り行われました。

関東地方整備局 土井局長の挨拶に続き、来賓の方々にご祝辞をいただいた後、管理運営委員会副委員長を加えてテープカットを行いまして、建設技術展示館の一般公開をはじめました。(写真-3・4・5・6・7)



写真-3 関東地方整備局長挨拶



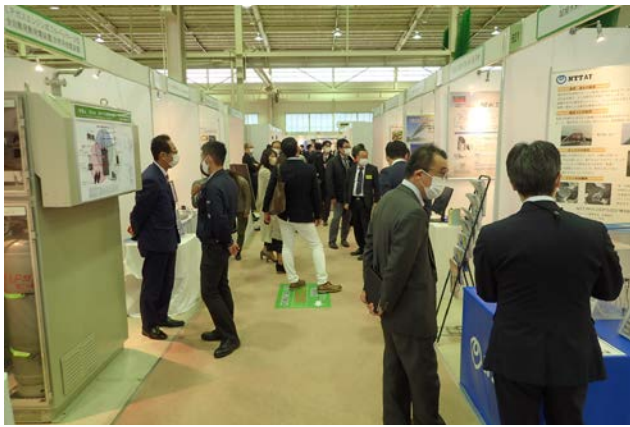
写真-4 テープカット



写真-5 屋内展示場 中央通路



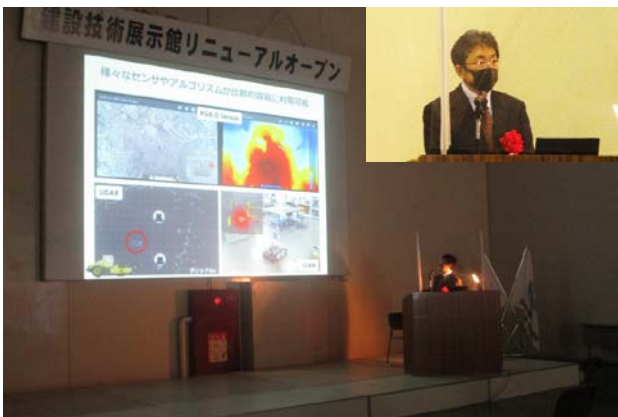
写真-6 Society5.0を実現する新技術に関する展示状況



写真－7 防災・減災・国土強靱化、インフラ長寿命化技術に関する展示状況

## 2.3 特別講演

講演は2つのテーマで、東京大学大学院 永谷特任教授からは「災害現場や建設現場に活用されるロボット技術と今後の展望」と題して、土木建設現場に活用されるロボット技術は生産性向上のための技術や自動化レベルについて、災害現場に活用されるロボット技術は無人工化施工にUAVを活用した研究や火山調査ロボットの紹介、また、今後の展望について、研究成果や動画を用いてわかりやすくご講演頂きました。(写真－8)



写真－8 特別講演 永谷特任教授

次に群馬大学大学院 清水教授からは「令和元年台風19号豪雨災害から学ぶ河川災害の特徴と課題」と題して、直轄河川の被害と課題は千曲川や荒川水系入間川・久慈川・那珂川の決壊の様子、中小河川の被害と課題は栃木県秋山川・永野川の氾濫について、洪水インパクトを河道はどう受けたかは千曲川の河岸浸食被害の状況、また、利根川は大丈夫

かのなかではハツ場ダムの効果等について、動画や被害状況写真を交えて詳しくご講演して頂きました。(写真－9)



写真－9 特別講演 清水教授

## 3. 建設技術展示館の活動

### 3.1 出展技術発表会

建設技術の活用・普及促進を図ることを目的として、建設技術展示館に出展している技術を行政・民間の技術者に出席者自らが紹介するもので、第15期は12回(年間6回)の開催を予定しております。

また、継続教育CPD及びCPDSの認定を受けています。(写真－10)



写真－10 出展技術発表会(第14期当時)

### 3.2 技術講習会

施工者または監督職員への技術者育成のために出席者による単独・共同による技術講習会・セミナー

等を定期的に開催予定しております。またCPDSの認定を受けています。(写真-11)



写真-11 技術講習会(第14期当時)

### 3.3 団体見学

企業や国、自治体、学生、一般の団体の方々を対象として、団体見学を受け付けております。

展示館や災害対策車両、被災・老朽化橋梁、水陸両用ブルドーザーの見学、バリアフリー体験、さらに今期からはVRで「もし洪水が襲ってきたら」を体験することができます。(写真-12)



写真-12 VR体験コーナー

### 3.4 ホームページの運営

建設技術展示館HPの出展技術ガイドより、展示さ

れている新技術の紹介やダイジェスト版のダウンロード、出展技術発表会・技術講習会の開催案内や団体見学をお申込みすることができます。

## 4. おわりに

昨今、想定を超える大規模災害が頻発する中で、我が国の社会資本整備は、防災・減災、国土強靱化に向けてソフト・ハード両面からの取組を強化するとともに、人手不足とインフラ老朽化に直面する中で、データ駆動・新技術導入による予防保全を中心としたインフラメンテナンスを推進することが求められております。さらに、人口減少時代も見越して、Society5.0時代にふさわしいまちづくりの中核としてのスマートシティの実装・展開を進めることが重要となっています。

このため、建設技術展示館では今後も建設技術に関する情報提供、技術者支援を実施していくとともに、学生や子ども達といった次世代の担い手や一般の方々に対しても施設を有効に利活用していただけるよう機能の拡充、環境づくり等に取り組んでいきます。

是非、建設技術展示館にお越し下さい。

また、本展示館の活動状況についてはホームページに随時掲載していきますのでご覧下さい。

「建設技術展示館」HP <http://www.kense-te.jp/>

- 開館日：火曜日～金曜日  
(祝日・年末年始除く)
- 開館時間：10:00～16:00
- 入館：無料
- 団体見学：要予約